

国立公文書館所蔵資料絵はがき（各セット 8枚／400円）

桜	「古今要覧稿」中から、美しい彩色を施した桜花の図を収録。
春の花	国指定重要文化財「庶物類纂図翼」の中から、春に咲く美しい花々を収録。
夏の花	国指定重要文化財「庶物類纂図翼」から、色とりどりの夏の花を紹介。
秋の花	国指定重要文化財「庶物類纂図翼」に描かれた、さまざまな秋の花々。
冬の景色	「真澄遊覧記」、「北夷分界余話」などから、冬の情景を紹介。
将軍のアーカイブズ	国指定重要文化財「吾妻鏡」ほか徳川家康ゆかりの資料や家康・吉宗の花押など。
大名 著書と文化	「寛政重修諸家譜」、徳川光圀編「礼儀類典」、松平定信自筆の随筆「花月双紙」など。

国立公文書館の有償頒布について

国立公文書館一筆箋（各セット 4デザイン・16枚／300円）

華鳥譜	漢方医で本草学者として知られる森立之が著した鳥類図譜（1861序）より。
水族写真	奥倉辰行が描き、美しい色刷りで出版された魚類図譜（1855刊）より。

国立公文書館有償頒布図書一覧

No	書名	内容
1	改訂増補内閣文庫蔵書印譜	古典籍に捺されている蔵書印の内400点を選び、印影を収録し解説を加えたもの。
2	虫附損毛留書 (上)	享保17年(1732)から翌年にかけて、西日本で発生した蝗の大群による被害状況や救恤の記録を集めた資料集。
3	虫附損毛留書 (中)	
4	虫附損毛留書 (下)	
5	楓軒文書纂 (上)	水戸藩士で「大日本史」の編纂に従事した小宮山楓軒(1764～1840)が、各地に伝わる古文書約3,500点の模写を集め所蔵者ごとにまとめたもの。
6	楓軒文書纂 (中)	
7	楓軒文書纂 (下)	
8	自家年譜 (上)	幕臣で和歌や茶道にも造詣が深かった森山孝盛(1738～1815)の自筆日記。孝盛は松平定信の信任もあつく、日記は政治史の資料としても貴重である。
9	自家年譜 (中)	
10	自家年譜 (下)	
11	雪江先生貼雑 (上)	幕末から明治にかけて活躍した書家関雪江(1827～77)による大小暦や書画会案内等の刷物の貼込帳。
12	雪江先生貼雑 (下)	
13	華鳥譜	漢方医で書誌学者の森立之(1807～85)が著した鳥類図鑑。万延2年(1861)序。精密な彩色図を描いたのは、絵師の服部雪斎。

※ 価格・購入方法等については、業務課利用係にお問い合わせください。(電話：03-3214-0663)

## 正保城絵図

正保年間（1644～48）に幕府が諸藩に命じて作成、提出させた全国各地の城郭図。石垣の高さ、堀の深さなどの軍事的情報があますところなく記されている。国の重要文化財。全63鋪のうち現在下記の48鋪を頒布中。

No	名	称	No	名	称		
1	白	石	奥州仙台領白石城絵図	25	田	原	三河国田原城絵図
2	本	荘	出羽国油利之郡本城絵図	26	苺	谷	参州苺谷城絵図
3	山	形	出羽国最上山形城絵図	27	松	阪	伊勢国松坂古城之図
4	上	山	出羽国之内上山絵図	28	伊	勢	伊勢国亀山城絵図
5	新	庄	出羽国新城絵図	29	膳	所	近江国膳所城絵図
6	東	根	最上東根城絵図	30	丹	波	丹波国亀山城絵図
7	二	本	奥州二本松城之絵図	31	福	知	丹波国福知山平山城絵図
8	棚	倉	奥州棚倉城之図	32	岸	和	和泉国岸和田城絵図
9	笠	間	常陸国笠間之城絵図	33	笹	山	丹波笹山城之絵図
10	古	河	下総国古河城絵図	34	明	石	播磨国明石城絵図
11	烏	山	下野国烏山城絵図	35	大	和	和州郡山城絵図
12	沼	田	上野国沼田城絵図	36	津	和	石見津和野城絵図
13	関	宿	下総国世喜宿城絵図	37	津	山	美作国津山城絵図
14	小	田	相模国小田原城絵図	38	松	山	備中国松山城絵図
15	村	上	越後国村上城之絵図	39	福	山	備後国福山城絵図
16	新	発	越後国新発田之城絵図	40	三	原	備後国之内三原城所絵
17	丸	岡	越前国丸岡城之絵図	41	丸	亀	讃岐国丸亀城絵図
18	飯	山	信濃国飯山城絵図	42	大	洲	伊予国大洲城之絵図
19	高	遠	信州高遠城之絵図	43	小	倉	豊前国小倉城絵図
20	上	田	信州上田城絵図	44	唐	津	肥前国唐津城廻絵図
21	大	垣	美濃国大垣城絵図	45	八	代	肥後国八代城廻絵図
22	岩	村	美濃国岩村丹波式部少輔居城絵図	46	岡		豊後国直入郡岡城絵図
23	掛	川	遠州掛川城絵図	47	白	杵	豊後之内臼杵之城絵図
24	西	尾	三河国西尾城絵図	48	日	出	豊後国日出城絵図

※ 価格・購入方法等については、業務課利用係にお問い合わせください。（電話：03-3214-0663）